

## 行事許可申請書

平成27年 7月24日

阪神港長 殿

5

8-34

関西学生ヨット連盟

平成27年度レース委員長 太田 晶久

### 1 目的及び種類

平成27年度関西学生ヨット夏季選手権大会

ディンギーヨット帆走によるレース（参加予定隻数 90隻）

### 2 期間及び時間

平成27年 8月22日(土) から 平成27年 8月23日(日)

各日午前8時から日没までの間

### 3 区域又は場所

阪神港尼崎西宮芦屋区第2区

西宮内防波堤灯台から真方位245度 2400mを中心とする半径900mの

円内海域（競技海域位置図 参照）

### 4 方 法

【別紙1】記載のとおり

### 5 そ の 他

事故防止措置等【別紙2】記載のとおり

（第9号様式）

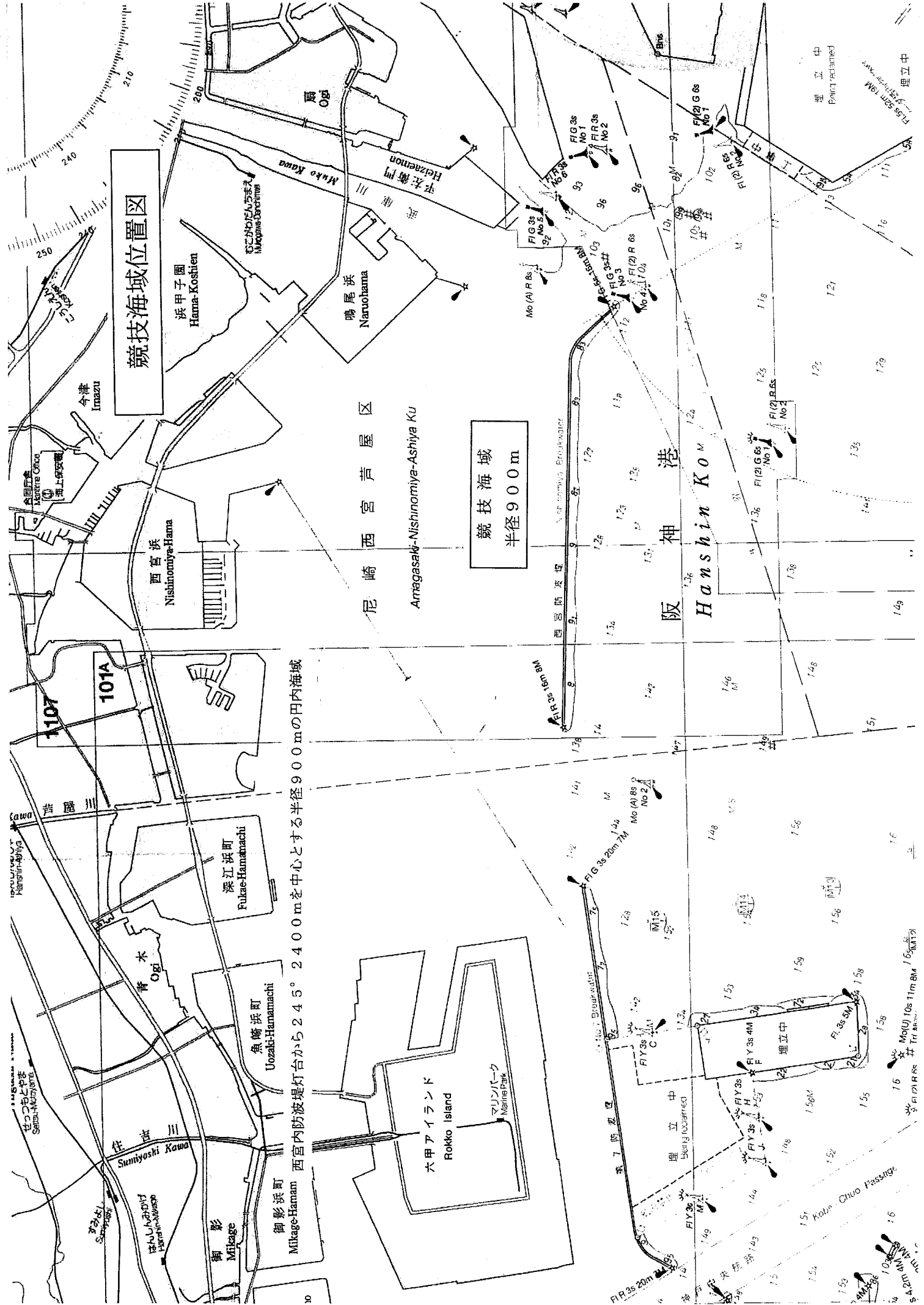
#### 注 意

- 1 この様式は、次の用途に使用できる。  
工事又は作業許可申請書  
行事許可申請書
- 2 用途により、表題中不要の文字を削ること。
- 3 申請者の氏名を記載し、押印することに代えて署名することができる。
- 4 申請書は、1通提出すること。
- 5 許可書又はその写しを、許可を受けた行為の行われている現場に携行すること。

競技海域位置図

競技海域  
半径900m

西宮内防波堤灯台から245°2400mを中心とする半径900mの円内海域



今津 Imazu

西宮浜 Nishinomiya-Hama

浜甲子園 Hama-Koshien

尼崎西宮芦屋区 Amagasaki-Nishinomiya-Ashiya Ku

鳴尾浜 Nantohama

馬 Ogi

大甲アイランド Rokko Island

マリンパーク Marine Park

魚崎浜町 Uozaki-Hamamachi

深江浜町 Fukae-Hamamachi

御影 Mitage

御影浜町 Mikage-Hamamachi

住吉川 Sumiyoshi Kawa

青木 Ogi

1107

101A

阪神 Hanshin Kōmō

埋立中 (Pier reclaimed)

埋立中 (Pier reclaimed)

Mo(U) 10s 11m 8M / 16(MAT)

Mo(U) 10s 11m 8M / 16(MAT)

Mo(U) 10s 11m 8M / 16(MAT)

Mo(U) 10s 11m 8M / 16(MAT)

Mo(U) 10s 11m 8M / 16(MAT)

## ◎方法

(1) 本レースは、関西学生ヨット連盟加盟大学（13大学）から、出場を希望する国際470級と国際スナイプ級を使用してのディンギーヨット帆走レースです。

- ・国際470級 最大45艇 国際スナイプ級 最大45艇 選手180名
- ・レース予定数

日付	国際470級	国際スナイプ級
8月22日(土)	4	4
8月23日(日)	3	3
合計レース数	7	7

- ・レースは、国際470級から開始し、その約6分後に国際スナイプ級がスタートします。  
(【別表1】参照。)

(2) レースに先立ち、8月22日(土)は09:00、8月23日(日)は08:35より本部船・マーク運営艇・警戒艇・救助艇が出艇し、レース海域にマークブイ(三角錐ブイ:マーク1、2、3S、3P、4S、4P)と、スタートアウターマークブイ及びフィニッシュマークブイ(円筒形ブイ)の8基を2.5Kgアンカーにより設置します。

ジャッジ艇は、8月22日(土)は09:30、8月23日(日)は09:05より出艇し、レース海域で待機します。(【別表2】参照。)

(3) 許可海域までは、新西宮ヨットハーバー又は兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)から帆走により出艇します。

- ・天候等によっては、各校の警戒艇等により1隻につき二列縦隊(全長約50m、一列3隻計6隻)で曳航して向かいます。

(4) スタートは、本部船とスタートアウターマークブイの間とし、設置ブイを反時計周り(一部のブイは時計周り可)で周回したあと、ゴールは、フィニッシュ艇とフィニッシュアウターマークブイの間とし、全艇がフィニッシュラインを通過した時点で、若しくは一定時間が経過した時点でレースは終了となり、各艇は適時新西宮ヨットハーバー又は兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)へ帰港します。(【別表3】参照。)

(5) 各日の最終レース終了後、マークブイは、マーク運営艇により引揚げ撤去します。

## ◎事故防止措置等

(1) 標識

- ①マークブイには、所有者名及び連絡先を明記し、流出した場合は責任をもって回収します。
- ②レース参加艇には、メインセールの上部に識別番号(1~70)を貼付しています。

(2) 安全対策

- ①レース実施海域の本部船『KINKI』には、行事实施責任者(レース委員長)である太田晶久を配置し、事故防止等の指揮監督に当たります。

・レース委員長: 太田晶久(大阪市立大学ヨット部OB)

— 28 — 34

- ②レース実施中は、警戒艇3隻により、レース海域を警戒するとともに、本部船(1隻)、マーク運営艇(6隻)と救助艇(3隻)により、救助活動を行います。

- ③警戒艇には、船長の他に専従監視員を乗船させ、付近航行船舶に対し、赤旗、拡声器等により注意喚起するとともに、一般船舶の航行に支障がある場合には、レースを一時中断して避航するよう指示を出します。また、海中転落者及び航行不能艇等の救助に当たります。

- ④本部船・マーク運営艇・警戒艇・救助艇・ジャッジ艇に対して無線機により常時連絡体制を確保し、参加艇への緊急時の連絡時については、国際信号旗も併用し、参加艇に周知します。

- ⑤気象・海象に注意し、気象警報(暴風・波浪・大雨)・津波警報が発表された場合又は次の基準に

達した場合若しくは同基準が予想される場合には行事を中止して帰港します。

◎風速 10m/秒以上 ◎波高 1m以上 ◎視界 1マイル以下

・レース委員長は、各レース当日の午前7時時点の気象情報により、レースの実施・延期・中止の判断を行います。

- ⑥レース参加者全員及び本部船・マーク運営艇・警戒艇・救助艇・ジャッジ艇の操船者を含む全ての搭乗員に救命胴衣を着用させます。
- ⑦事故発生時、緊急時は直ちに応急処置を講ずるとともに、「緊急時の連絡体制表」【別表4】により、西宮海上保安署等へ速やかに報告します。
- ⑧レースの中止は、速やかに西宮海上保安署へ電話で報告します。
- ⑨海域関係者(新西宮ヨットハーバー、関西ヨットクラブ、芦屋マリーナ、兵庫県立海洋体育館、尼崎港管理事務所、兵庫県セーリング連盟、日本押船土運船協会)へ説明し調整済みです。レース海域の確保については、日本押船土運船協会に協力依頼し、調整済みです。
  - ・本行事については、周辺海域利用者に周知了解のうえで実施しますが、本行事にかかる問い合わせ、苦情等は全て関西学生ヨット連盟で対応します。
- ⑩レース開始前日の8月21日(金)には、レース参加する各大学の主将を集めて主将会議を行い、席上で本許可申請書を配布し、本許可申請書記載の安全対策の内容・中止基準・緊急時の連絡体制を周知徹底します。またレースに使用する海面の位置、救命胴衣の着用等の注意事項の確認と安全指導を実施します。
- ⑪警戒艇等参加船艇の役割は【別表5】のとおりです。
- ⑫レース当日は、陸上本部を設置し、当日予想される天候図を公式掲示板に掲示します。またレース参加艇の出港、帰港を確認します。
- ⑬ヨットレース参加艇の隻数及び参加人数は、確定後、その一覧表をFAXにて送付します。
- ⑭レース参加艇は各艇に割り当てられた識別番号をセール上部に貼付、船体には大学名を貼付します。
- ⑮レース運営艇は白一色の識別旗、警戒艇は白一色に赤字で「警戒艇」と記載した識別旗、登録された支援艇・応援艇は緑の識別旗を、全日程のレース開始時刻から終了時刻まで掲揚します。
- ⑯レース前日までの海上で練習する際は、別紙を参照します。

## 【別表1】

## 平成27年度 関西学生ヨット夏季選手権大会

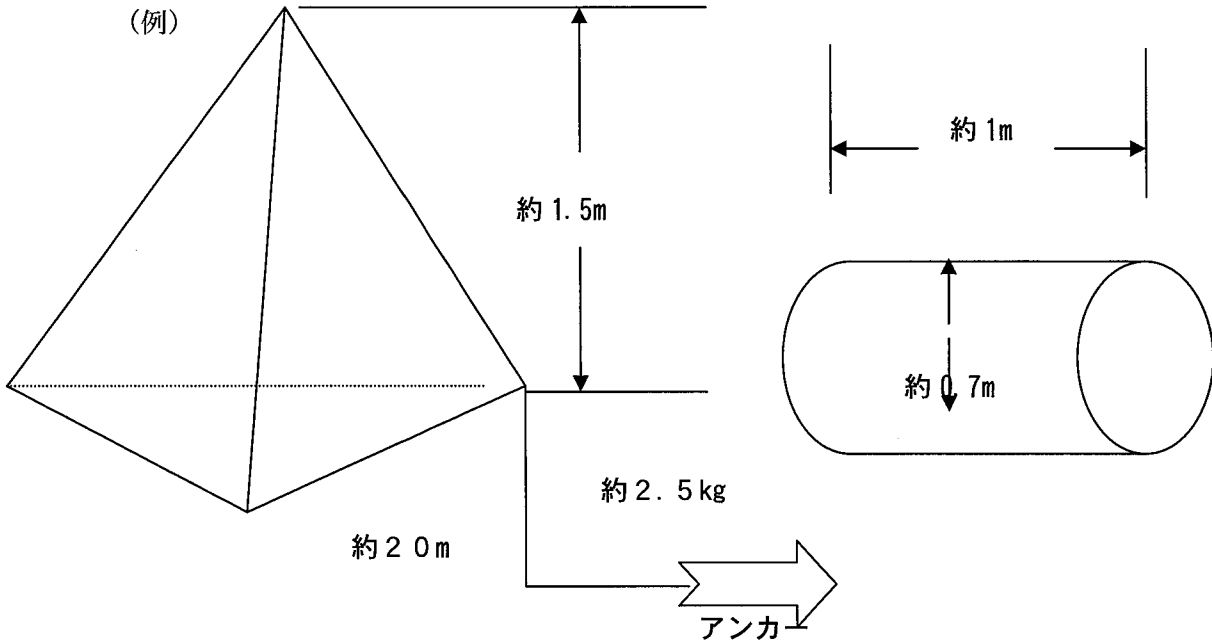
## レース・スケジュール

月日	時刻(予定)	アクション	
8月22日(土)	08:00	大会運営委員 集合・出欠確認	
	08:10～	レース運営会議(大会運営委員ミーティング)	
	～08:30	競技者変更届・受付終了	
	08:35～	470級 出艇申告受付開始	
	08:40～	スナイプ級 出艇申告受付開始	
	08:45～	選手・監督・コーチとレース委員会・プロテスト委員会とのブリーフィング	
	08:55	運営艇・出艇前運営備品等確認	
	09:00	本部船・マーク運営艇・救助艇・警戒艇 出艇	
	09:05	470級 出艇(D旗掲揚)	
	09:10	スナイプ級 出艇(D旗掲揚)	
	09:30	ジャッジ艇 出艇	
	09:45	マーク設置 完了	
	09:55	470級・第1レース・予告信号	
	10:00	470級・第1レース・スタート	
	10:01	スナイプ級・第1レース・予告信号	
	10:06	スナイプ級・第1レース・スタート	
	11:20	470級・第2レース・スタート	
	11:26	スナイプ級・第2レース・スタート	
	12:40	470級・第3レース・スタート	
	12:46	スナイプ級・第3レース・スタート	
	14:00	470級・第4レース・スタート	
	14:06	スナイプ級・第4レース・スタート	
	15:20	マーク回収	
	15:40	470級・スナイプ級 帰着	
	15:45	本部船・マーク運営艇・救助艇・警戒艇 帰着	
	8月23日(日)	08:00	大会運営委員 集合・出欠確認
		08:10～	レース運営会議(大会運営委員ミーティング)
		08:10～	470級 出艇申告受付開始
08:15～		スナイプ級 出艇申告受付開始	
08:20～		選手・監督・コーチとレース委員会・プロテスト委員会とのブリーフィング	
08:30		運営艇・出艇前運営備品等確認	
08:35		本部船・マーク運営艇・救助艇・警戒艇 出艇	
08:40		470級 出艇(D旗掲揚)	
08:45		スナイプ級 出艇(D旗掲揚)	
09:05		ジャッジ艇 出艇	
09:20		マーク設置 完了	
09:30		470級・第1レース・予告信号	
09:35		470級・第1レース・スタート	
09:36		スナイプ級・第1レース・予告信号	
09:41		スナイプ級・第1レース・スタート	
10:55		470級・第2レース・スタート	
11:01		スナイプ級・第2レース・スタート	
12:15		470級・第3レース・スタート	
12:21		スナイプ級・第3レース・スタート	
13:35		マーク回収	
13:55		470級・スナイプ級 帰着	
14:00		本部船・マーク運営艇・救助艇・警戒艇 帰着	
16:00		表彰式・閉会式	

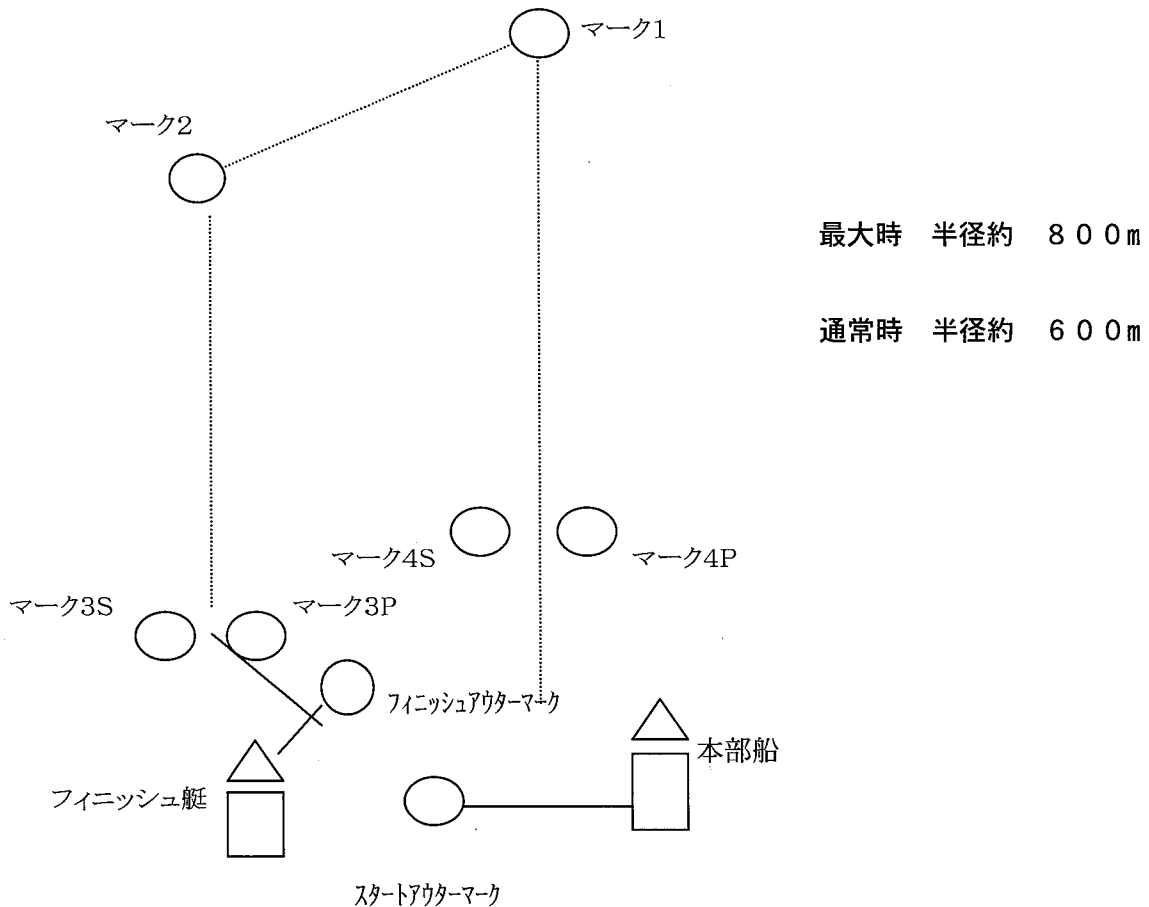
(注記) 天候(風速や風向の変化等)により、各アクションの時刻を変更する事があります。

# 設置するマークバイ

- (1) 使用するマークバイには所有者の名前を明記します。
- (2) マークバイ（マーク1、2、3S、3P、4S、4P）の形状は三角錐で、色はオレンジです。
- (3) スタートアウターマーク、フィニッシュアウターマークバイの形状は円筒形で、色は黄です。
- (4) 各バイは、約20mのロープと約2.5kgのアンカーを使って設置します。



(4) レースの際は、以下に示すような形にマークバイを設置します。



【別表3-1】

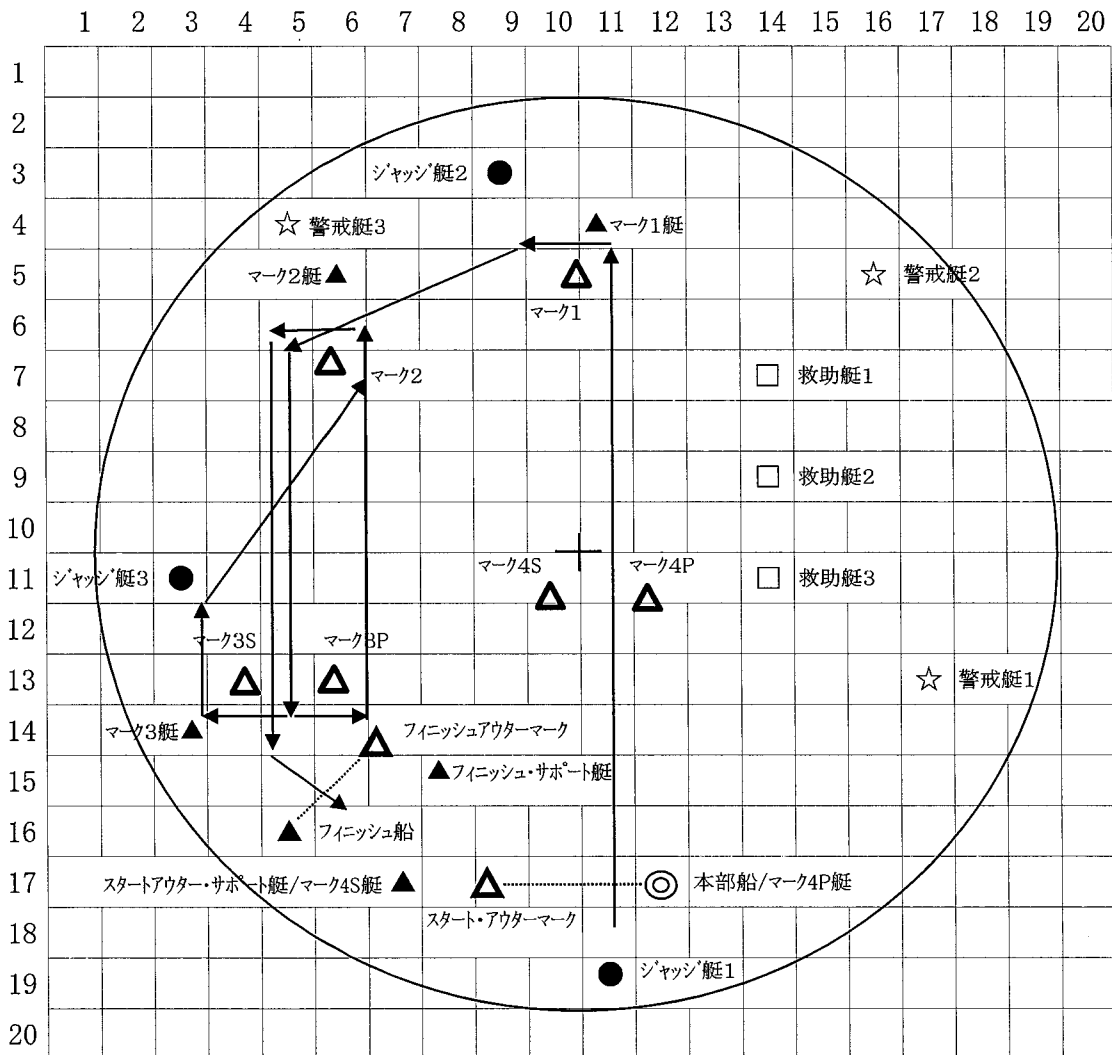
行事实施図(A)

(注) マーク1、2、3S、3P、4S、4P:三角錐ブイ

スタートアウターマーク:円筒形ブイ

フィニッシュアウターマーク:円筒形ブイ

目盛:100m



◎: 本部船:1艇 → スタートラインの端に配置する。レースエリア全体を指揮する。

▲: マーク運営艇:6艇 → マークの横に配置する。マークの設置・回収とレース艇の監視を行う。

□: 救助艇:3艇 → レースエリア全体を移動しながらレース艇の監視及び救助を行う。

☆: 警戒艇:3艇 → レースエリアの端に配置。エリアの監視業務及び緊急時のレース艇救助を行う。

●: ジャッジ艇:3艇 → スタートライン又は回航マーク付近に配置。レース艇の監視を行う。

【別表3-2】

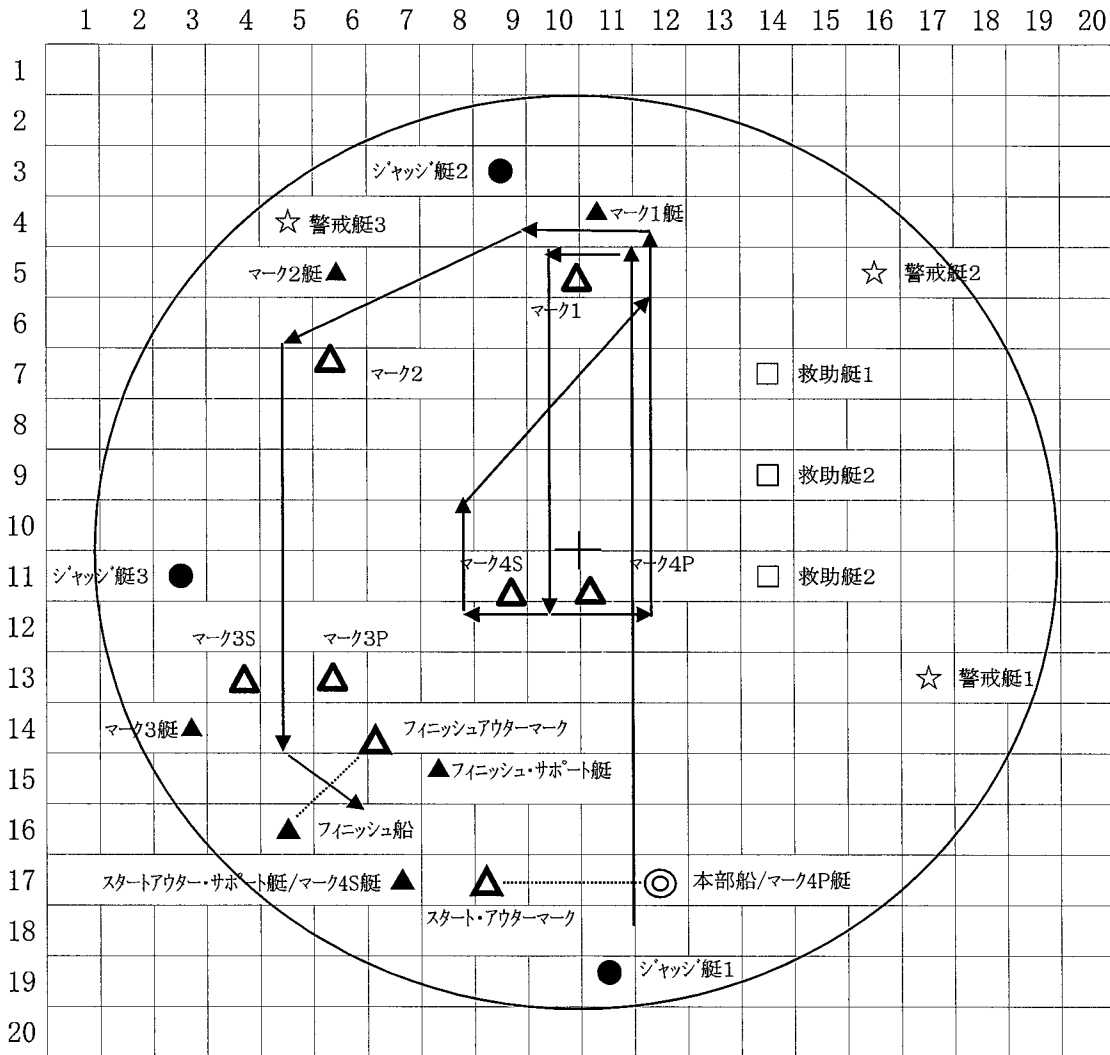
行事实施図(B)

(注) マーク1、2、3S、3P、4S、4P:三角錐ブイ

目盛:100m

スタートアウターマーク:円筒形ブイ

フィニッシュアウターマーク:円筒形ブイ



◎: 本部船:1艇 → スタートラインの端に配置する。レースエリア全体を指揮する。

▲: マーク運営艇:6艇 → マークの横に配置する。マークの設置・回収とレース艇の監視を行う。

□: 救助艇:3艇 → レースエリア全体を移動しながらレース艇の監視及び救助を行う。

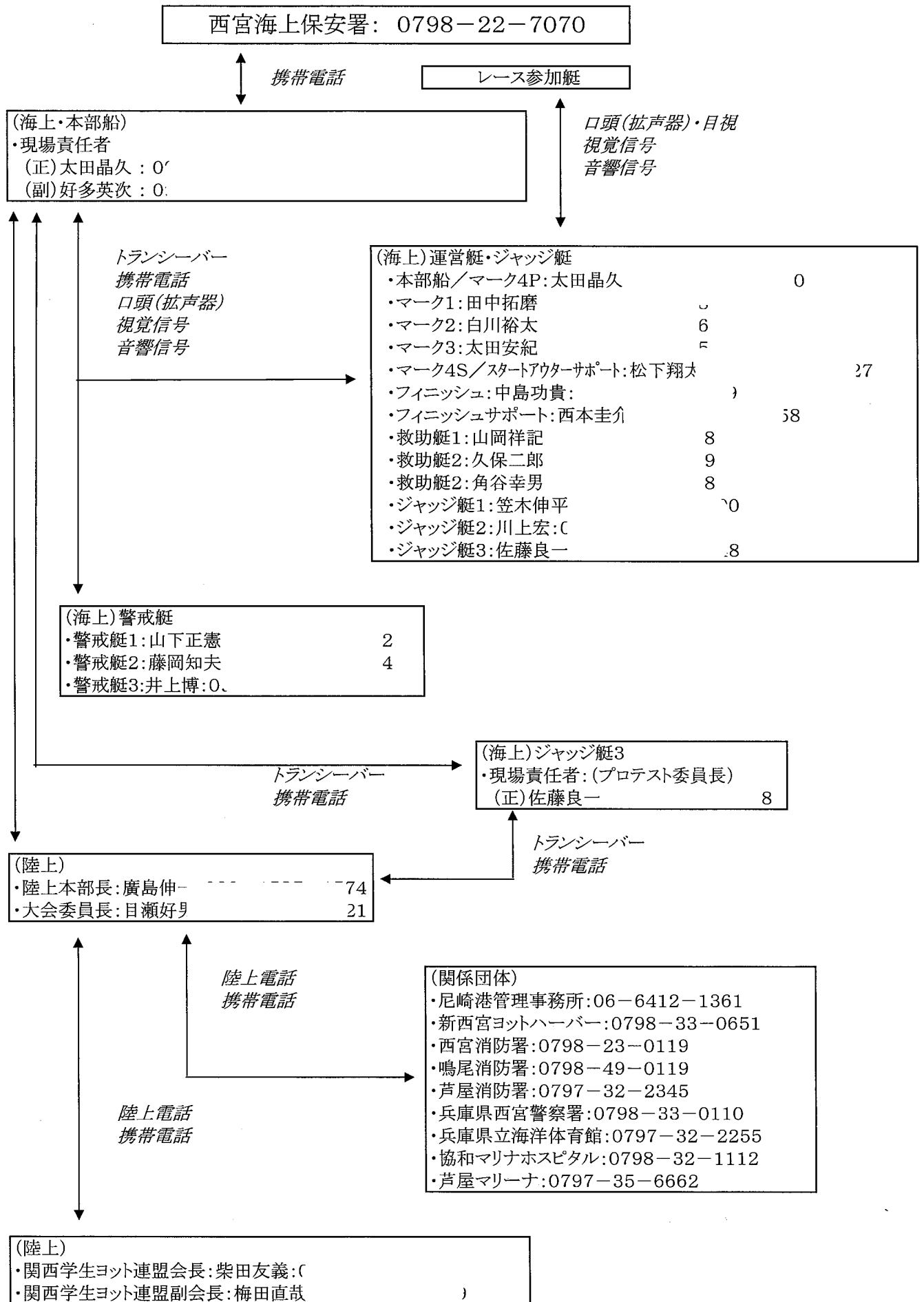
☆: 警戒艇:3艇 → レースエリアの端に配置。エリアの監視業務及び緊急時のレース艇救助を行う。

●: ジャッジ艇:3艇 → スタートライン又は回航マーク付近に配置。レース艇の監視を行う。



【別表4】

緊急時の連絡体制表



## 【別表5】

## 使用船舶一覧

## 本部船

所属	艇名	役割	船舶検査済票番号	全長 m	最高速力 knt	船長
近畿大学	KINKI	・本部船 ・マーク4P	第 250-41141 号	8.48	15	太田 晶久

## マーク運営艇・救助艇

所属	艇名	役割	船舶検査済票番号	全長 m	最高速力 knt	船長
神戸大学	白帆丸V	・マーク1	第 250-40045 号	6.53	12	田中 拓磨
神戸大学医学部	SEGALⅢ	・マーク2	第 260-37757 号	5.58	11	白川 裕太
和歌山大学	URAKAZEVI	・マーク3	第 252-25838 号	6.92	15	太田 安紀
関西大学	秀麗VI	・マーク4S ・スタートアウターサポート	第 294-24787 号	6.62	17	松下 翔太
関西学院大学	新月Ⅲ	・フィニッシュ	第 271-36884 号	7.35	14	中島 功貴
大阪府立大学	もずV	・フィニッシュサポート	第 243-27653 号	6.45	10	西本 圭介
大阪市立大学	そよかぜⅢ	・救助艇1	第 250-25081 号	6.66	13	山岡 祥記
大阪大学	摩耶VI	・救助艇2	第 280-37577 号	6.73	12	久保 二郎
大阪経済大学	大樟Ⅲ世	・救助艇3	第 250-24451 号	5.63	13	角谷 幸男

## 警戒艇

所属	艇名	役割	船舶検査済票番号	全長 m	最高速力 knt	船長
甲南大学	甲風	・警戒艇1	第 260-42892 号	6.78	12	山下 正憲
兵庫医科大学	せいれんⅢ	・警戒艇2	第 260-30835 号	5.87	13	藤岡 知夫
追手門学院大学	追風V	・警戒艇3	第 250-41070 号	6.22	15	井上 博

## ジャッジ艇

所属	艇名	役割	船舶検査済票番号	全長 m	最高速力 knt	船長
兵庫県セーリング連盟	はばタン3号	・ジャッジ・ボート1	第 260-44350 号	4.91	15	川上 宏
兵庫県セーリング連盟	ツインスター	・ジャッジ・ボート2	第 232-38423 号	4.82	15	笠木 伸平

※ これらの各艇は、トランシーバーを所持しています。

※ また各艇は、本部船『KINKI』の指示の下、各マークを設置し、レース海面の監視(レース艇の安全確認と救助活動、他の船舶の航行によるレース海面への影響等)活動を行います。

【別紙2】

◎警戒艇管理運用要領

1. 目的

この要領は、平成27年度関西学生ヨット夏季選手権大会の実施に際し、大会レース委員会が配備する警戒艇の業務を的確に実施し、もって競技海域及びその周辺海域における船舶航行の安全と大会の円滑な遂行を図り、事故の防止に万全を期することを目的とする。

2. 警戒艇の配備

- (1) 本大会には、3隻の警戒艇を配備する。
- (2) 配備する警戒艇は次のとおりとする。

所属	艇名	総トン数	乗組員	配備期間	配備時間
甲南大学	甲風	1.5	5名	自平成27年8月22日 至平成27年8月23日	午前8時～レース終了時
兵庫医科大学	せいれんⅢ	1.8	6名	自平成27年8月22日 至平成27年8月23日	午前8時～レース終了時
追手門学院大学	追風V	2.1	7名	自平成27年8月22日 至平成27年8月23日	午前8時～レース終了時

3. 警戒艇の指揮及び通信連絡体制

- (1) 警戒業務を的確に実施するため、警戒業務管理者1名及び専従監視員5名を置く。
- (2) 指揮系統図は次のとおりとする。

警戒業務管理者（レース委員長：太田晶久） → 各専従監視員 → 警戒艇乗組員

(3) 警戒艇の艇長

所属	艇名	艇長氏名	年齢	海技免状の種類
甲南大学	甲風	山下 正憲	52	1級 第0418090050800号
兵庫医科大学	せいれんⅢ	藤岡 知夫	29	2級 第0528071044191号
追手門学院大学	追風V	井上 博	63	1級 第0438040233381号

(4) 通信連絡体制

【別表1】のとおりとする。

4. 警戒区域

警戒艇が警戒すべき海域及び警戒艇の配備位置は【別表2】による。

5. 警戒業務実施要領

- (1) 警戒艇は、実施海域付近において、主として次の業務を行う。
  - ① 競技海域に接近しようとする船舶等に対して注意喚起する。
  - ② レース実施中に発生した事故に対して、人命の安全の確保及び被害の拡大防止のため必要な措置を行う。
  - ③ 競技を観戦する応援艇等の交通を整理する。
- (2) 基本的留意事項  
艇長及び専従監視員は協力して、次の事項を実施する。
  - ① 警戒業務が的確に実施できるよう船体、機関、機器等の保全に努めるとともに、警戒業務に必要な知識の充実及び各種訓練の実施に努める。
  - ② 乗組員の作業を明確に定めた部署配置表を船内の見えやすい場所に備えておく。
  - ③ 警戒業務実施方法の参考とするため、警戒業務記録簿を備え付け、警戒業務管理者から入手した情報、指示、警戒業務の引き継ぎ事項、実施概要等を記録する。
- (3) 警戒業務実施前の遵守事項  
警戒艇の船長は、警戒業務管理者等を通じ、次の情報を入手すること。
  - ① 競技の進捗状況の把握
  - ② 気象情報の入手
  - ③ その他必要な事項
- (4) 警戒業務実施中における遵守事項
  - ① 警戒艇は競技の情報を伝達するなど一般船舶の安全運航について協力するものであって、他船に対する指示権や航法上の優先権を有するものではないことに留意する。
  - ② 警戒艇は、港則法、海上衝突予防法等関係法令を遵守し、航行の安全を確保する。

- ③ 警戒艇は、操船者及び専従監視員を常時船橋に配置して見張りを厳重にし、競技海域へ異常接近する恐れのある船舶の動向を早期に把握する。
- ④ 警戒艇は、緊急その他やむを得ない場合のほか、いたずらに他船に接近しない。
- ⑤ 警戒艇は、巡視船から海難救助等の緊急措置について協力要請があった場合はその旨を警戒に報告し、指示を受けこれに協力する。
- ⑥ 警戒艇は、特別の指示による場合及び緊急の場合のほか、警戒区域を離れない。

(5) 一般警戒の要点

- ① 警戒艇は、担当する区域内を適宜巡回し、競技の進捗状況及び気象、海象状況に留意し、定時に次の事項を警戒業務管理者に報告する。
  - ・警戒区域内の状況
  - ・標識等の異常の有無
  - ・天候及び海上模様
  - ・その他必要事項
- ② 警戒艇は、参加艇が一般船舶の航行を妨害する恐れのある場合等航行の安全上必要と認められた場合は、警戒業務管理者に報告するとともに交通の整理を行う。
- ③ 警戒艇は、一般航行船舶等が競技海域に異常接近する恐れのあると認めた場合は、次の措置を講じ事故防止に努める。
  - ・航行船舶等の進路及び速力等から判断して競技海域に異常接近する恐れのある時は、当該船舶に近づき、汽笛・拡声器・探照灯、赤旗等適切な手段により注意喚起を行う。
  - ・接近防止のため、必要に応じ接近を防止する位置に占位して注意喚起を行う。
  - ・進入船舶があった場合は、当該船舶に対し早期に競技海域外へ退避するよう協力を求め、必要に応じ誘導等の措置を講ずる。
- ④ 警戒艇は、競技海域に設置された標識その他の関連施設の異常の有無の監視を行い、異常が発見された時は、直ちにその状況を警戒業務管理者に報告する。

(6) 警戒艇の運航中止基準

警戒業務管理者は、気象、海象等の状況を勘案したうえ、警戒艇の運航中止又は待機の指示を行わなければならない。

◎風速 10m/秒以上 ◎波高 1m以上 ◎視界 1マイル以下

## 6. 管理運用体制

(1) 警戒業務管理者は、主として次の業務を行う。

- ① 警戒業務の統括及び実施の確保に関すること。
- ② 警戒艇の運用及び警戒業務の実施に関し、必要な情報の収集及び専従監視員に対する当該情報の伝達に関すること。
- ③ 警戒業務の実施に関し、警戒艇及び海上保安署との連絡に関すること。
- ④ 警戒艇の艇長及び専従監視員に対する競技内容の周知に関すること。
- ⑤ 警戒艇乗組員の教育、訓練に関すること。
- ⑥ その他警戒業務の実施に関し、必要な事項に関すること。

(2) 警戒業務の管理

- ① 警戒業務管理者は、事前に警戒艇の運用計画を策定して、警戒艇の艇長に指示する。
- ② 警戒業務管理者は、警戒艇が警戒業務に従事している間は、警戒艇の行う業務の実施状況を把握出来る本部船に自ら乗船する。
- ③ 警戒業務管理者は、レース副委員長等との連絡を密にし、警戒艇が必要とする情報の提供を受けてそれを警戒艇に提供し、また警戒艇から報告のあった異常接近船に関する情報、警戒区域内で発生した事故に関する情報、巡回中に発見した関連施設の異常に関する情報等を関係者へ提供する。

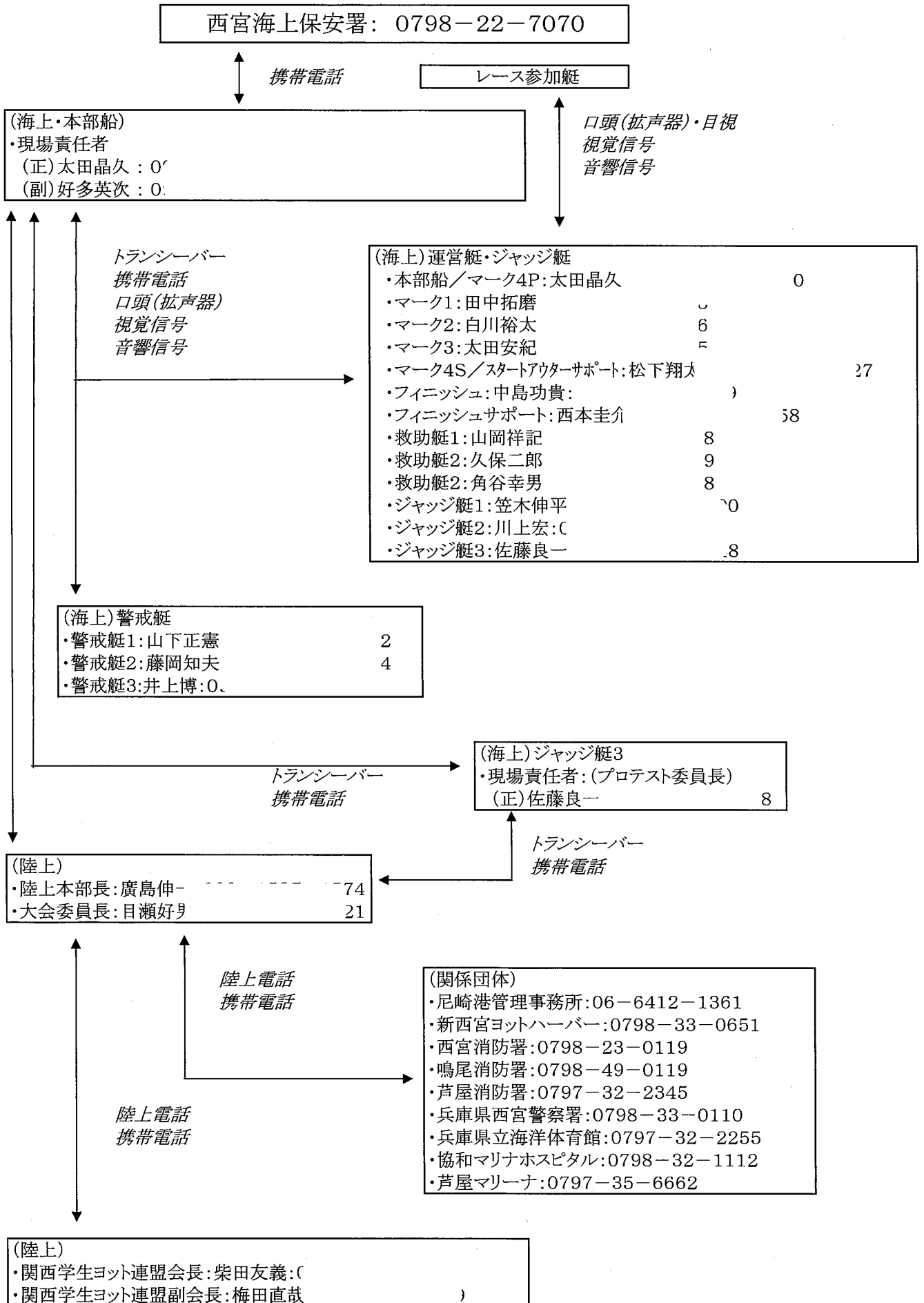
## 7. 警戒艇乗組員の教育、訓練

- (1) 警戒業務管理者は、警戒艇乗組員に対して海上交通関係法令、緊急事態発生時の措置等警戒業務に必要な教育及び実地訓練を警戒業務開始前に実施する。
- (2) 警戒業務管理者は、本大会と同様の競技において発生した事故事例を調査研究し、警戒艇乗組員に対し周知徹底を図る。

以上

【別表4】

通信連絡体制



【別表2-1】

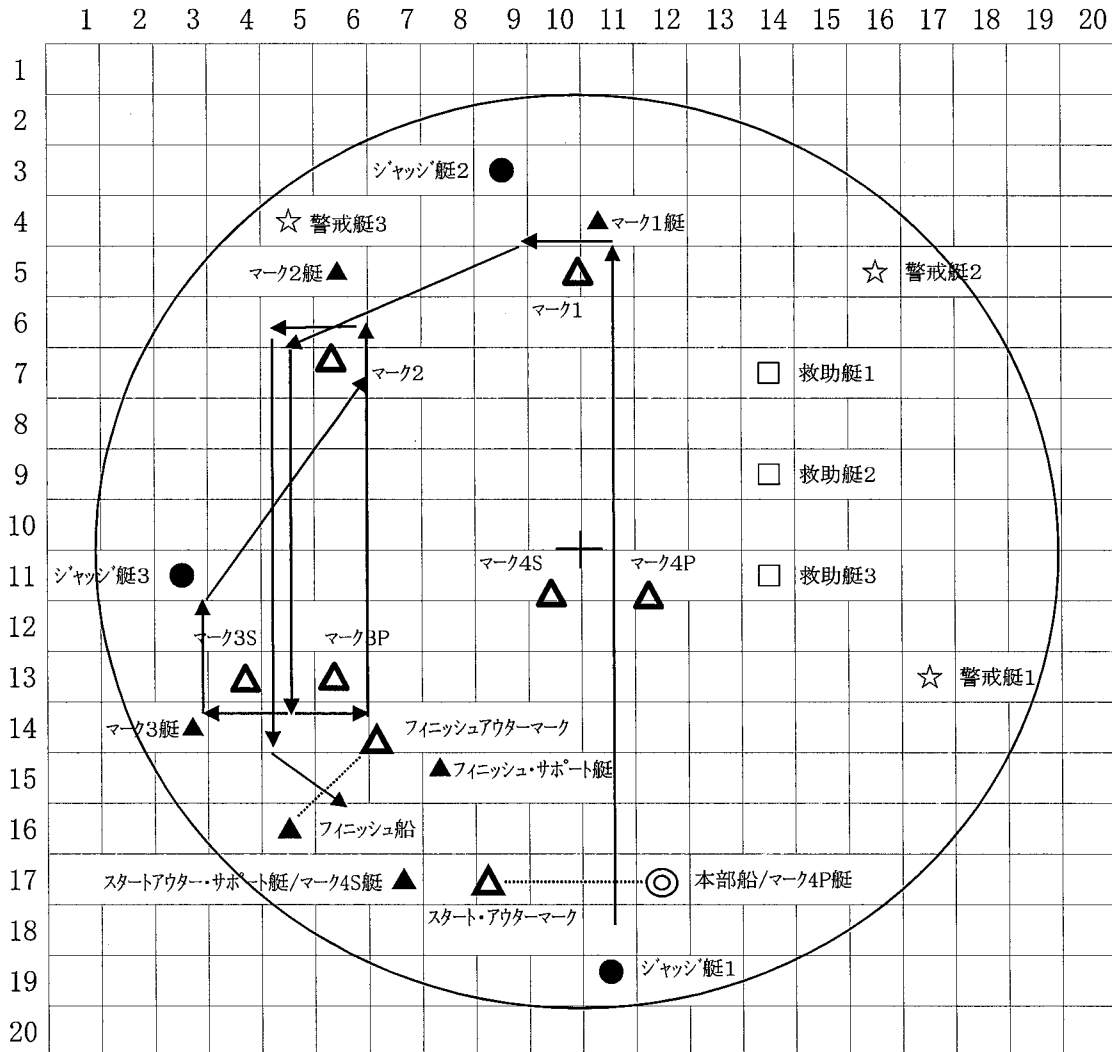
行事実施図(A) (警戒すべき海域及び警戒艇の配備位置)

(注) マーク1、2、3S、3P、4S、4P:三角錐ブイ

目盛:100m

スタートアウターマーク:円筒形ブイ

フィニッシュアウターマーク:円筒形ブイ



◎: 本部船:1艇 → スタートラインの端に配置する。レースエリア全体を指揮する。

▲: マーク運営艇:6艇 → マークの横に配置する。マークの設置・回収とレース艇の監視を行う。

□: 救助艇:3艇 → レースエリア全体を移動しながらレース艇の監視及び救助を行う。

☆: 警戒艇:3艇 → レースエリアの端に配置。エリアの監視業務及び緊急時のレース艇救助を行う。

●: ジャッジ艇:3艇 → スタートライン又は回航マーク付近に配置。レース艇の監視を行う。

【別表2-2】

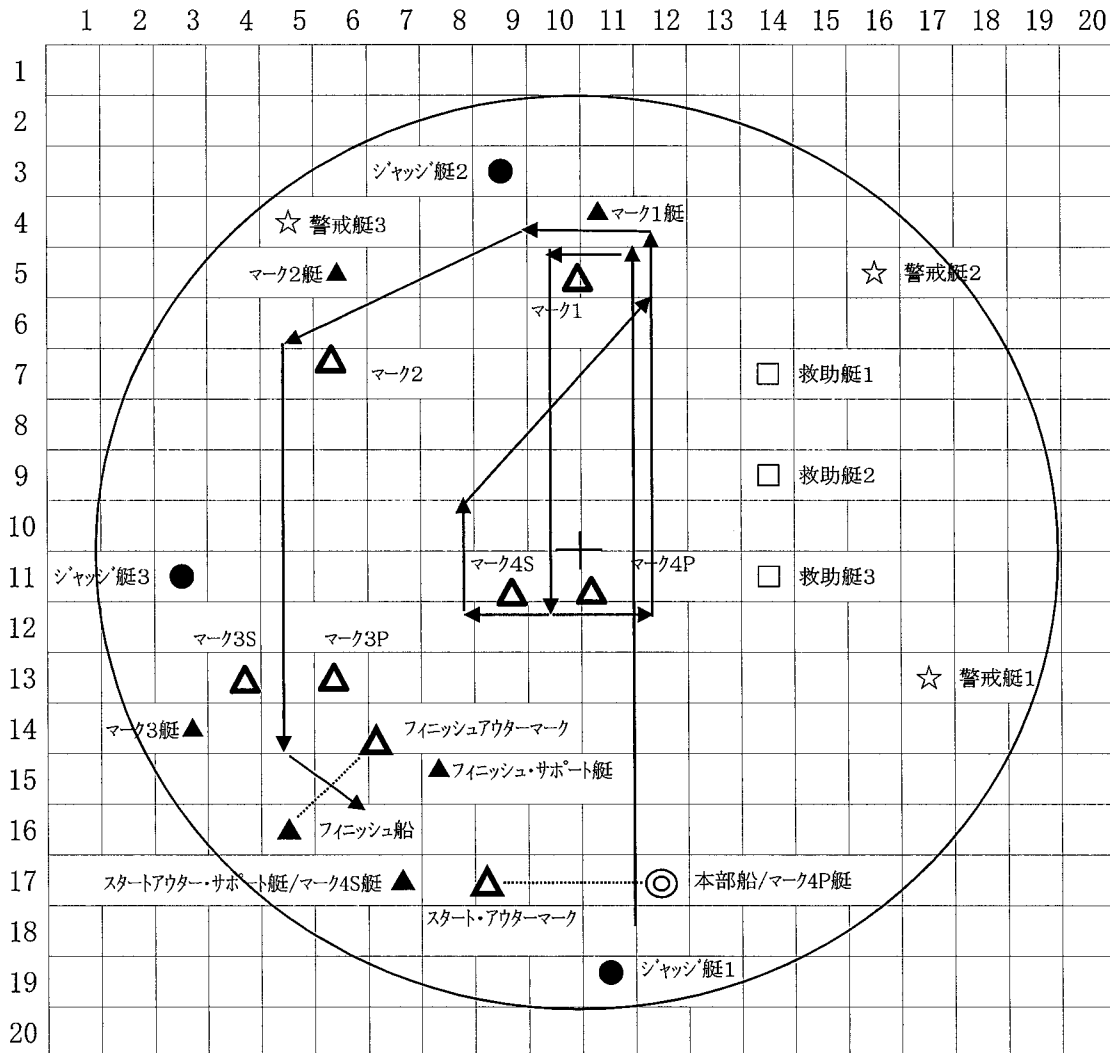
行事实施図(B) (警戒すべき海域及び警戒艇の配備位置)

(注) マーク1、2、3S、3P、4S、4P: 三角錐ブイ

目盛: 100m

スタートアウターマーク: 円筒形ブイ

フィニッシュアウターマーク: 円筒形ブイ



◎: 本部船: 1艇 → スタートラインの端に配置する。レースエリア全体を指揮する。

▲: マーク運営艇: 6艇 → マークの横に配置する。マークの設置・回収とレース艇の監視を行う。

□: 救助艇: 3艇 → レースエリア全体を移動しながらレース艇の監視及び救助を行う。

☆: 警戒艇: 3艇 → レースエリアの端に配置。エリアの監視業務及び緊急時のレース艇救助を行う。

●: ジャッジ艇: 3艇 → スタートライン又は回航マーク付近に配置。レース艇の監視を行う。